

Fellowship for the Advancement of Radiology

情報誌

F A R

21 号

事務局：(社) 日本放射線技術学会事務局内

〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町 167 ビューフォート五条烏丸 3F

TEL:075-354-8989. FAX:075-352-2556/<http://www.jsrt.or.jp>. Email:office@jsrt.or.jp

《ごあいさつ》

また春が巡ってまいりました

会長 橋本 宏



今年は年明けから 2 月にかけて寒い日が続きました。

FAR 会員の皆様には お健やかにお過ごしのことと存じます。

昨年は食に関する偽装が話題になり、その年を表す一字は「偽」、食に対する不安が広がりました。ちなみに、アメリカで選ばれたのは「サブプライム」だったそうです。

防衛省の贈収賄疑惑、年金問題、薬害訴訟が年を越し、年が明けてイージス艦「あたご」や、ロス疑惑、日銀総裁不在、ガソリン税など話題は後を絶ちません。

医療界でも、産科、小児科の縮小、救急患者のたらいまわし等が話題になりました。

有人宇宙施設「きぼう」の成功、万能細胞の研究など明るい話題もありましたが、ややもすると暗い話しの中に埋没するような感じがあります。

我が FAR 会の昨年の旅行は伊勢に行きました。

出発はあいにくの天気でしたが、車内はご祝儀のお酒で大いに盛り上がりました。鳥羽の夫婦岩はさすがに大波でしたが、ホテルでは地元の酒と肴に大満足。次の日は晴天で、襟を正して伊勢神宮にお参りしました。

うっそうと繁る杉木立の中を歩いて清々しい気分になり、若い巫女さんの舞う神楽にうっとりとした方もあったのではないのでしょうか。お昼に頂いた、すし久の「てこね鮓」もなかなかの味でした。

春の総会学術大会は無事終わりましたが、発表がスライドから液晶プロジェクターに変わり、最近はインターネット利用まで進んできました。パソコンが苦手な年寄りには縁遠くなりそうです。

今年春の懇親の夕べは、横浜中華街の「龍鳳酒店」で開催され、中国の方々も加わり、多くの皆様と楽しいひと時を過ごしました。

秋の旅行は、草津方面になるようです。今からご用意いただき、多くの方々とお会いできますようお願いしております。

内 容

1. ごあいさつ 会長 橋本 宏
2. 「2008 懇親の夕べ」報告
3. 「2008 軽井沢・草津の旅」予告
4. 特集「終戦から 63 年……」 清水久子
 - 1) よろずのことときあり 神田幸助
 - 2) 戦時中の想い 島田裕弘
 - 3) 広島原爆被災のことなど 砂屋敷忠
 - 4) 激動の昭和に生きる 高尾義人
 - 5) 終戦から 63 年 中村 修
 - 6) 私の昭和の 63 年 吉田 弘
5. 会員の広場（寄稿）
 - 1) 第 22 回鹿児島学会 中間光男
 - 2) 中欧世界遺産の旅 萩原康司
6. JSRT 情報
7. 会員動向
8. 会からのお知らせ
9. 第 22 号原稿募集（特集、会員投稿）
10. 連載《四国八十八ヶ所霊場巡り⑫》
「最終あたりは高野山・奥の院」 遠山坦彦
11. 編集後記